

AI活用研究会

代表者

埼玉大学大学院理工学研究科 准教授 大久保 潤

コーディネーター

埼玉大学オープンイノベーションセンター
産学連携シニアコーディネーター・笠谷 昌史

目的・目標

近年、深層学習（ディープ・ラーニング）などの人工知能（AI）研究が著しく進展し、これまで人が行ってきた仕事を人工知能で置き換えることも含め、産業界や社会を大きく変革する可能性が出てきた。しかしながら、「AIには興味があるけどよくわからない」という声が多く聞かれており、実用化に向けた取り組みは未だ途上段階にある。本研究会では、所属する会員が、将来的にAI・機械学習を活用した企業変革の最前線を走っていくために、AI・機械学習についての基本的な事項を幅広く知り、また活用のための知見を深めることを目的とする。

活動内容

1. 基礎知識習得

AI・機械学習における基本的な考え方に触れ、手持ちのデータの活用方法などを考えるための基礎を身につける

2. 応用展開

- AI・機械学習関連の適用事例についての紹介
最新の技術動向も含め、適用事例に関する知見を得る
- ケーススタディ等により AI・機械学習の活用体験を行う
どのように企業経営に活用できるかを検討する